

多摩キャンパスは、新緑と花々で
初夏を迎えつつあります

本年は、四年前の震災の慌ただしい中で入学してきた学生たちを、三月二十五日に卒業式にて、復興支援ソング「花は咲く」で送り出しました。そして、四月二日には満開の桜の下で入学式を挙行し経済学部では今年も約一千名の新入生を迎えるました。

満開だったツツジはすでに終えましたが初夏に向かい色々な花々が咲き始めキャンパスを一層魅力的にしております。

現在、すでに学内の授業やイベントなども順調に進んでおり、新入生もキャンパスの施設や環境にも慣れ学業に励んでおります。

さて、本年も下段のご案内のように今年も定期総会を開催いたします。

この機会に是非、母校をお訪ね頂き、楽しいひと時をお過ごし下さい。学部の後輩に接することにより、今後の皆様の心の支えとなることを念じております。

なお、定期総会での報告、審議内容についてお伝えします。

現在、すでに学内の授業やイベントなども順調に進んでおり、新入生もキャンパスの施設や環境にも慣れ学業に励んでおります。

さて、本年も下段のご案内のように今年も定期総会を開催いたします。

この機会に是非、母校をお訪ね頂き、楽し

いひと時をお過ごし下さい。学部の後輩に接することにより、今後の皆様の心の支えとなることを念じております。

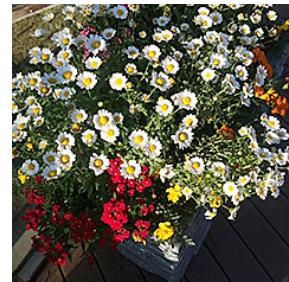
なお、定期総会での報告、審議内容についてお伝えします。

また予め二面、三面でご紹介させていただ

いております。



～ 多摩キャンパス 風景 ～



第25回 白門経友会 定期総会のご案内

- | | |
|--|---|
| 1. 日 時 6月13日(土)午後2時開会
(本年より6月第2土曜日を定例とさせていただきます) | 4. 記念講演 14:40 - 16:10
講師 片桐 正俊 教授
演題 アベノミクスと税財政改革 |
| 2. 会 場 中央大学多摩キャンパス
7号館1階 7104教室 | 5. 懇親会 16:30 - 18:30
会場 生協 ふらっと
会費 OB(卒業5年以上) 10,000円
OB(卒業5年末満) 3,000円
現役学生 1,000円 |
| 3. 定期総会 14:00 - 14:30
① 平成26年度事業報告
② 平成27年度事業計画・予算案
③ その他 | |

- ・会費は、当日受付にて集金させて頂きますのでよろしくお願ひいたします。
- ・懇親会では、本学音楽研究会吹奏楽部により金管楽器の五重奏が演奏されます。
- ・役員の方は当日13:00より幹事会を開催しますので同時刻までに会場にご参集下さい。

第一号議案 二〇一四年度活動報告**I 会議**

一二〇一四年度定期総会

日時 二〇一四年(平成二十六年)六月七日(土)十四時

場所 中央大学多摩キャンパス

七号館 七一〇三号室

II 行事

- (6) 二〇一四年十一月三日二十七日(木)
 (7) 二〇一五年二月十八日(水)
 (8) 二〇一五年三月十九日(木)
 (9) 二〇一五年三月二十五日(火)

新入生歓迎・第二十四回定期総会案内等
第五十五号 二〇一四年八月三十一日発行
 第五十六号 二〇一四年十二月一日発行
 海外インターナシップ等新設科目紹介
第五十七号 二〇一五年三月二十日発行
 退職教員紹介 中央大学「夢」企画
第五十八号 二〇一五年三月二十一日発行
 第五十九号 二〇一五年三月二十二日発行
 第六十号 二〇一五年三月二十三日発行

II 行事
 一 学部授業「キャリアデザイン」への協力
 二 学部行事「キャリアガイダンス等」への協力担当する学生委員会及び学生運営委員会
 三 中央大学「夢」企画における諸活動への支援協力をうる。
 四 白門経友会三十周年目を迎える員同士の親睦を計り教職員及び学生との交流を行ふ。

定期総会の報告、ゼミ活動報告
 等と連絡を取りつつ全面的に協力する。

として協力支援する。

- 議案
 第一号議案
 一二〇一三年度活動報告及び決算報告
 第二号議案
 一二〇一四年度活動計画及び予算案
 第三号議案
 その他報告事項

一 学部授業「キャリアデザイン」への協力
 二 当年度も鳥居伸好教授のもと二〇一四年四月から七月までの期間で全十五回のキャリアデザインの授業が行われ白門経友会から齋藤顧問、風間幹事長に加えて外部からの有識者により学外授業特別協力者として講義を行つていただき前年度同様、好評を得ました。

三 中央大学「夢」企画における諸活動へし、計四回発行しました。

四 白門経友会三十周年目を迎える員同士の親睦を計り教職員及び学生との交流を行ふ。

- 議案
 第一号議案
 一二〇一四年度活動報告及び決算報告

- 議案
 第二号議案
 一二〇一四年度活動計画及び予算案
 第三号議案
 その他報告事項

一 学部授業「キャリアデザイン」への協力
 二 当年度も鳥居伸好教授のもと二〇一四年四月から七月までの期間で全十五回のキャリアデザインの授業が行われ白門経友会から齋藤顧問、風間幹事長に加えて外部からの有識者により学外授業特別協力者として講義を行つていただき前年度同様、好評を得ました。

三 中央大学「夢」企画における諸活動へし、計四回発行しました。

四 白門経友会三十周年目を迎える員同士の親睦を計り教職員及び学生との交流を行ふ。

- 議案
 第一号議案
 一二〇一四年度活動報告及び決算報告
 第二号議案
 一二〇一四年度活動計画及び予算案
 第三号議案
 その他報告事項

一 学部授業「キャリアデザイン」への協力
 二 当年度も鳥居伸好教授のもと二〇一四年四月から七月までの期間で全十五回のキャリアデザインの授業が行われ白門経友会から齋藤顧問、風間幹事長に加えて外部からの有識者により学外授業特別協力者として講義を行つていただき前年度同様、好評を得ました。

三 中央大学「夢」企画における諸活動へし、計四回発行しました。

四 白門経友会三十周年目を迎える員同士の親睦を計り教職員及び学生との交流を行ふ。

第二号議案 二〇一五年度活動計画**I 会議****第二号議案 二〇一五年度活動計画**

IV その他
 一 一二〇一五年度定期総会
 二 一二〇一五年六月十三日(土)十四時
 三 一 白門経友会ホームページの内容の充実化
 四 として学生からの投稿を進める

- 議案
 第一号議案
 一二〇一四年六月二日(土)第二十四回
 一 幹事会
 二 総会の議案を審議、承認。

一 一二〇一四年六月二日(土)第二十四回
 二 幹事会
 三 経和会懇親会に参加
 四 開催いたしました。

一 一二〇一五年六月十三日(土)十四時
 二 場所 多摩キャンパス
 三 七号館 七一〇四教室
 四 総会終了後、記念講演を実施する。

一 演題「アベノミクスと税財政改革」
 二 講師 片桐正俊 教授
 三 入会呼びかけの強化

- 議案
 第一号議案
 一二〇一四年十一月二十七日常任幹事会
 一 を拡大して諸行事を承認。

一 一二〇一四年十一月二十七日常任幹事会
 二 幹事会
 三 経和会懇親会に参加
 四 開催いたしました。

一 一二〇一五年三月五日(木)に退職される先
 二 生方の歓送を含めた経済学部教員の親睦会で
 三 ある「経和会懇親会」に招待され白門経友会
 四 の常任幹事も参加いたしました。

一 一二〇一四年五月二十八日(水)
 二 一二〇一四年七月九日(水)
 三 一二〇一四年九月二十六日(金)
 四 一二〇一四年十一月十四日(金)

III 会報の発行と主要記事

第五十四号 二〇一四年五月二十日発行

一 新入生歓迎・第二十四回定期総会案内等
 二 行事
 三 会報「白門経友会」を年四回発行する。な
 四 お、前年度より原則として紙ベースでの発行
 五 を取りやめ、ホームページへの掲載とする。

一 会報「白門経友会」を年四回発行する。な
 二 お、前年度より原則として紙ベースでの発行
 三 を取りやめ、ホームページへの掲載とする。

一 会報「白門経友会」を年四回発行する。な
 二 お、前年度より原則として紙ベースでの発行
 三 を取りやめ、ホームページへの掲載とする。



第1号議案(2)

2014年度 決算報告書

自 2014年4月1日
至 2015年3月31日

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前年度繰越金	164,093	総会費	120,000
会費収入	303,000	会報発行費用	76,008
総会費収入	110,000	交流費	20,000
寄付金収入	60,000	事務通信費	0
受取利息	14	振込手数料	10,392
雑収入	38	会議費	0
		雑費	30,000
		次年度繰越金	380,745
合計	637,145	合計	637,145

(注)次年度繰越金の内訳

(株)三井住友銀行八王子支店	普通預金	45,854	
(株)ゆうちょ銀行	振替貯金	309,097	
(株)ゆうちょ銀行	通常貯金	25,794	
現金		0	
合計		380,745	

以上の通りご報告申しあげます。

2015年月日

会長 谷口洋志 印

幹事長 風間俊範 印

監査の結果、いずれも正確かつ妥当であることを認めます。

2015年月日

監事 前島一夫 印

監事 森元公和 印

第2号議案(2)

2015年度予算案

自 2015年4月1日
至 2016年3月31日

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前年度繰越金	380,745	総会費	120,000
会費収入	300,000	会報発行費用	100,000
総会費収入	150,000	HP維持費	20,000
寄付金収入(学員会補助金)	50,000	交流費	300,000
受取利息	100	振込手数料	10,000
		小計	550,000
		次年度繰越金	330,845
合計	880,845	合計	880,845

感謝の恵み

【始めに】

この記事を書いている日は五月十日、母の

二〇一〇年卒 局 芳暁

日です。皆さん、母の日に感謝の思いを母親に告げましたでしょうか？母の日とは、その成り立ちを見ると、ある女性が亡くなつた母親への感謝の意を表したことから始まります。

教会学校の教師をしていた彼女の母親は、日々モーセの十戒に記してある「汝の父母を敬え」という言葉を教えていたそうです。

彼女は、母親が存命している時は、その言葉に大きな価値を置いていたかったようですが、亡くなつてから、その願いを叶えようと、母の日の制定を嘆願しました。そうして、教会学校から始まって、日本へとその記念日が広まってきたのです。

【感謝は共通語】

さて、夢企画ではたくさんの生徒やOBOG

にインタビューをしています。その中で皆さんが共通しておっしゃることが「感謝」です。

の方に出会つたから今の自分がいる。あの時にこの言葉をかけてくれたから今の自分がいる。皆さんこのようにおっしゃいます。

例えば最近のインタビューではこんなことをおっしゃつて頂きました。

「大学のウェルカムパーティーに参加した際に、前に座つていた先輩がもの凄く魅力的

だつた。大学生というものに対する観点が変わつたし、後輩にも伝えていかなければならぬたいと思った。」何かを始めたい、何かを伝えたいと思うとき、そのきっかけには必ず「感謝」があるのだと感じます。

【感謝を感じる習慣】

何かを行おうと努力している人の裏には必ず「感謝」があります。そして、その「感謝」の大きさに比例して、やつていることも大きくなります。ある人は、中央大学に感謝をしています。そうすると、中央大学をよりよくしたいと思い、行動をします。ある人は、日本

の教育をよりよくしたいと思って行動します。彼らには、感謝を行動にする習慣があ

ります。感謝を行動に表わすと、また感謝を

感じじるようになつていくのです。そうして次

第にその感謝は大きくなつていき、その行動

も大きくなつていきます。

【感謝のきっかけ】

また一つ、インタビューから共通点が見い

だせます。それは感謝のきっかけです。

考えてみてください。生まれた時から、感謝

の方に出会つたから今の自分がいる。あの

をしている赤ちゃんはいないでしよう？ 生

まれた瞬間から、お母さんありがとう泣いて

ている赤ちゃんなどいません。必ず、感謝を

するにはきっかけがあつて、それは、何かし

ら辛い思いだつたり、悔しい思いだつたり、

壁にぶつかっている時に感じ取るものによ

です。ある弁護士の方はこう言いました。

「このまま学生生活が単調に進んで行つてしまつていいのだろうか。どうやつたらもうと人の為、世の為になることができるのだろうか。そう考えていたときに、ある一人の弁護士の方が与えてくれた言葉に感銘を受け、弁護士を目指そうと決心しました。」

聖書の言葉にこんな言葉があります。「心の貧しいものは幸いである。天国はあなたがたのものである。」これは命が無くなつた後になります。ある人は、中央大学に感謝をしています。そうすると、中央大学をよりよくしたいと思い、行動をします。ある人は、日本

の足りなさを知つていてこそ、あらゆるものに感謝もできるし、喜べるようになるという

「このまま学生生活が単調に進んで行つてような状態でしようか？これを深く見つめ

す。理想論だけではなく、現実問題を通して様々な刺激を与えてくれる場所です。

私たち夢企画では、大学に通う意義から学

生に知つてもらおうと日々奮闘しています。

中央大学だけではなく、東京西地域にある大学

が感謝で満ち溢れることを願つています。

【終わりに】

大学では様々な現実を知ることができます。

大学では様々な現実を知ることができます。理想論だけではなく、現実問題を通して

様々な現実を知つていいのだろうか。どうやつたらもうと人の為、世の為になることができるのだろうか。

編集後記

本学部100周年を祝ったのはついこの前のように思つてしましたが、今年ははや

110周年です。小さな区切りかもされませ

んが、今回の総会が、OB、現役学生、教職員の三者が集つて、経済学部の過去を振り返

り未来を語る場となればと願つております。

ゼひ皆様ご参加くださいますようお願い

ます。ぜひ皆様ご参加くださいますようお願い

いたします。（常任幹事 濱岡 剛）

2015年5月25日 第58号

発行 白門経友会常任幹事会

編集 白門経友会編集委員会

編集長 鈴木 秀男

〒192-0393

東京都八王子市東中野742-1

中央大学経済学部内

URL : www.wg-keiyukai.com

Fax : 042-673-3425